

あいかわ自然観察会 10月



- ◆事業目的：①ファミリーコミュニケーション運動にあわせて、家族や子どもたちのふれあいをはかる。
②村の自然とその四季による変化を知る。
③生き物のつながりを知り、身近な自然に目を向けるきっかけとする。

◆参加者数：6名

◆キノコの観察日和といった少しじめじめした気候の中、実際に村内で生えているキノコを分類してみました。参加者の皆様で話し合いながら、「これは食べられそう、こっちは毒じゃないか？」と分けてみます。今日のメインは村で初めて見つけた『マヤラン』です。地中の菌類から栄養をもらって花を咲かせる性質を持ち全国的にも数が少なくなっている花です。もうひとつ珍しいキノコがありました。『カキノミタケ』は学芸員の吉田が村で発見し、数年前に新聞にも取り上げられた亜熱帯性のキノコです。道中、ノコギリクワガタを発見し、「10月なのにまだ生きてる！」と興奮する子。ヤマアカガエルを発見したので、とても似ているニホンアカガエルとの違いを解説しました。また、参加者が発見した『菌輪』をじっくりと観察しました。今後ともまだ見ぬ生き物がみつけられそうなあいかわ自然観察会。皆様のお越しをお待ちしております。

(文責：石川)

担当スタッフ：石川、吉田、高梨、住友